

管理者から見える酒気帯び？ ブルブルと震える その手が

◇ 16

2012. 7. 20

JR東海労東二運分会

乗務員のみなさん

今月の営業訓練は当然もう終わりましたよね。と言うのは他でもありませんが、7月は職場の人事異動の関係でしょうか総合点呼が遅れました。その総合点呼に、吉川新副社長が出席して訓示しました。そこまでは良いとして、そこからが頂けません。



これは、イメージです

折しもその時、営業訓練が開始されていきました。気を利かせたのかそれとも予定どおりなのかは別として、訓練の様子を副社長に見せるべく手配がされました。その訓練課題にAEDの使用訓練が有りました。

なぜか、営業科の某管理者がお手本を見せたのですが、慣れないことはするものではありません。その手がブルブルと震えていました。その様子を見ていた参加者は、最初は緊張のせいかな？と置いていたけど、あまりのひどさに、酔っぱらっているのか、と声を出しそうになったと、あとで教えてくれました。



これも、イメージです

さらに、同じようなことがありました。11日の裁判の証言台に立った某管理者が、証拠書類をめくるその手がブルブルと震えていたのです。

乗務員のみなさん

もう一つ、分会の斉藤書記長が「酒気帯び」をデッチ上げられた時の計測の様子を見ていた管理者が、裁判所に証拠として提出した陳述書に、斉藤社員の手が震えていた、と書いています。これは、手が震えるほどの「酒気帯び」、とデッチ上げの表現をしたものです。これがデッチ上げでなければ、二人の某管理者も「酒気帯び」だったことになりませんか。

**管理者自らが デッチ上げを証明する とは恐れ入った話です
これが「酒気帯び」デッチ上げと 不当処分の 真の姿です**

「デッチ上げ 何を語るか ふるえる手」 C D 頑 爺

お詫びと訂正 7月3日付の「15 もうすぐ梅雨も明けて 夏休み」の日付が「2013」とあるのは、「2012」が正当でした。お詫びし、訂正します。今後とも愛読をお願い申し上げます。